



脂肪酸による癌転移の予防

國安 弘基

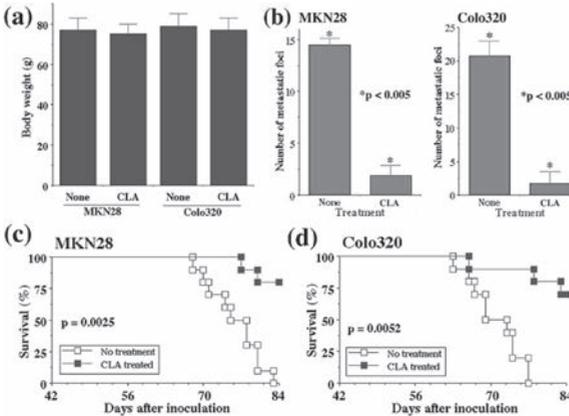
Hiroki Kuniyasu

分子病理学／教授

■キーワード 共役リノール酸、癌転移、転移予防、サプリメント

シーズ概要

共役リノール酸 (CLA) により癌の転移が抑制されることを、in vitro および動物実験モデルにより見出した (下図、Kuniyasu et al, Int J Cancer, 2005)。CLA の腹腔内投与により、(a) のように CLA はマウス体重増加障害などの副作用を有さず、(b) のように腹膜播種を著明に抑制した。さらに、(c)(d) のように、マウスの生存率を有意に改善した。CLA は食肉などに含まれるが多量に摂取することは困難である。今後、経口投与による有効性、投与量などを検討することによりヒトへの応用が期待される。



研究成果の応用可能性

がん患者に対して共役リノール酸を癌転移を予防するサプリメントとして商品化することが可能である。

Appeal Point

アピールポイント

サプリメント開発のパートナーを求めています。

関連文献／特許

1. Ohmori H, et al. Pathobiology, 2008.